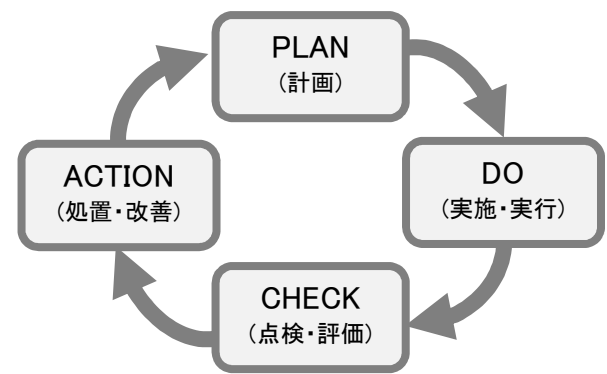


武庫川水系河川整備計画フォローアップ懇話会の今後の進め方（案）

◆河川整備計画の着実な推進を図るしくみ

⇒ PDCA サイクルの考え方に基づいた進行管理

- ①計画期間 20 年(H23～H42)を 4 分割して 5 年を 1 サイクルとし、5 年度毎に期別計画を定める。…**⒫**
- ②期別計画を目標として取り組みを推進する。…**Ⓓ**
- ③懇話会の意見を聴いて、期別目標の達成に向けての微修正を加えながら各年度の取り組みを行なう。…**Ⓒ**
- ④ 5 年に 1 度検証を行い、その結果を次の期別計画に反映する。…**Ⓐ**



◆今後の進め方

⇒ これまで毎年開催してきた懇話会を 5 年の 1 サイクルのうち「中間年（2～4 年目）」と「5 年目」の開催に変更する。

- ・ 5 年の 1 サイクルのうち中間年（2～4 年目）において、各取り組みの進捗状況を懇話会に報告し意見を聴くこととする。
- ・ 1 サイクル（5 年）の検証及びその結果を次の期別計画に反映する際には、懇話会の意見を聴く必要があると考えられるため、1 サイクルの最終年である 5 年目は開催する。
- ・ ただし、平成 16 年、平成 25 年の出水など大きな被災を受ける等の事象が発生した場合、その他社会情勢の変化、行財政の動向等から懇話会の意見を聴いた方がよいと判断される場合は、適宜懇話会を開催する。
- ・ また、懇話会を開催しない年であっても進行管理報告書は作成し、県 HP に掲載することで地域住民等との情報の共有化を図る。（河川整備計画 P80）

【理由】

整備計画策定から丸 5 年が経過し各取り組みが軌道に乗ってきたこと、また第 1 期の 5 年間に於いて毎年懇話会を開催してきたことによりフォローアップの仕組みが概ね確立できたため。また、事業の進捗として武庫川のような大きな河川は、各年よりも 2～3 年単位の方が変化がよく分かるため。

河川整備計画期間 20 年 (H23～H42)																				
第 1 期 (5 年)					今回	第 2 期 (5 年)					第 3 期 (5 年)					第 4 期 (5 年)				
H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	
懇話会 設置	懇話会	懇話会	懇話会	懇話会	懇話会		懇話会		懇話会			懇話会		懇話会			懇話会		懇話会	
	Ⓒ	Ⓒ	Ⓒ	Ⓒ	Ⓐ ↓ ⒫	Ⓒ	Ⓒ	Ⓒ	Ⓐ ↓ ⒫	Ⓒ	Ⓒ	Ⓒ	Ⓒ	Ⓐ ↓ ⒫	Ⓒ	Ⓒ	Ⓒ	Ⓒ	懇話会 総括 Ⓐ	